

in 九州

今月の注目データ

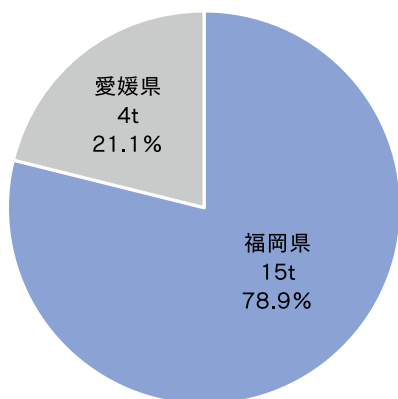
今月は「木ろうの生産量」と
「スイカの収穫量」です。

木ろうの生産量



「和ろうそく」の原料となる、木ろう（※）の生産量を都道府県別に見てみると、そのほとんど（78.9%）が福岡県で生産されています。木ろうは、江戸時代から藩の財政源として九州各地と愛媛県を中心に盛んに生産され、明治40年代にピークを迎えましたが、その後は、照明の主流が和ろうそくから価格の安い石油系のパラフィンロウを原料とする西洋ろうそくに取って替わられ、さらに電気の普及とともにろうそく自体の需要も減っていきました。最盛期は福岡県の柳川、みやま両市だけでも50軒あった木ろうの製造所が、今では日本でもわずか3軒となっています。

木ろうの生産量



（出所：林野庁「平成27年特用林産基礎資料」を基にFFGビジネスコンサルティング作成）

（※）木ろう：ハゼ（ウルシ科の落葉高木）の実から採れる日本特産の天然植物系ロウ

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA



スイカの収穫量

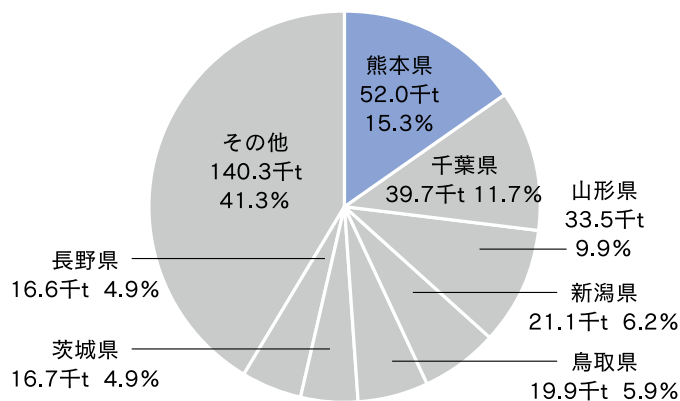


日本の夏の風物詩と言えばスイカです。スイカは水分が90%以上を占め、糖分やミネラルを多く含んでおり、熱中症予防の点からも、夏にぴったりの食べ物です。そんなスイカの収穫量を都道府県別に見てみると、熊本県が第1位（15.3%）となっています。

熊本県でも特に熊本市北区の植木地区が、日本一を誇るスイカの名産地となっている理由は、その地形と栽培時期、そして生産者の努力にあります。スイカは成長期における昼夜の温度差が大きいほど、糖度が高くなる傾向があります。スイカ栽培が行われる植木地区

の地形は盆地状になっており、昼は暖かく夜は冷え込むことから自然と温度差が大きくなります。そして、5月に出荷のピークを迎える植木地区のスイカは、ビニールハウスで栽培し加温することで日中の温度を上昇させ、夜は肌寒い外気に触れさせることで昼夜の温度差を拡大させ、スイカの糖度を上げています。さらに植木地区のスイカ生産者は、日光の当て方の研究や栽培土の改良などを毎年行っており、前年よりも高い糖度のスイカを生産するべくたゆまぬ努力を続けています。

すいかの収穫量



(出所:農林水産省統計「平成27年産野菜生産出荷統計」を基にFFGビジネスコンサルティング作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直している

福岡県の景気は、生産活動において持ち直しの動きが続いているほか、個人消費についても底堅い状況にある等、総じてみると持ち直しています。

公共工事は5ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いており、個人消費についても、主力の衣料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設も3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

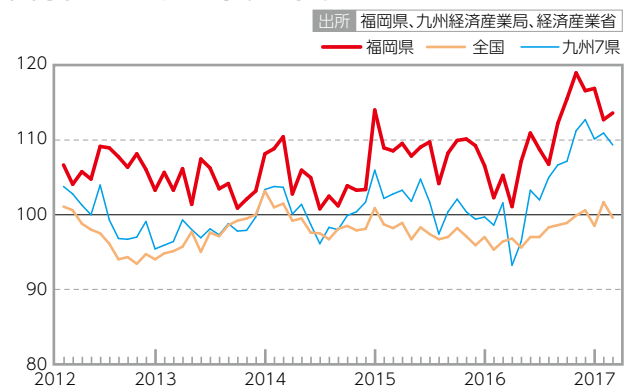
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は113.7と前月比0.8%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車の生産が減少した輸送機械は低下したものの、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.2%増の515億円となりました。

気温が上昇した影響等により春物衣料に動きがみられ、主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品も前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





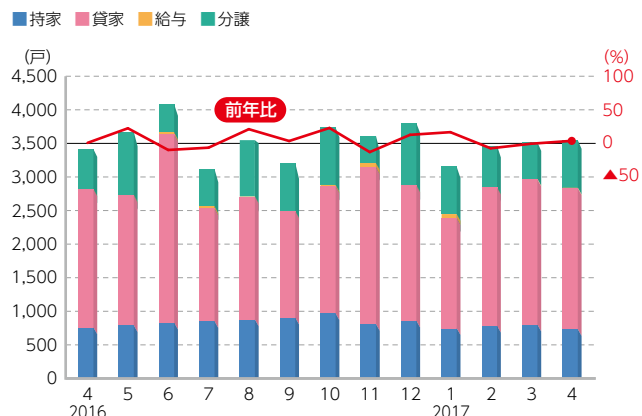
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比3.9%増の3,606戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



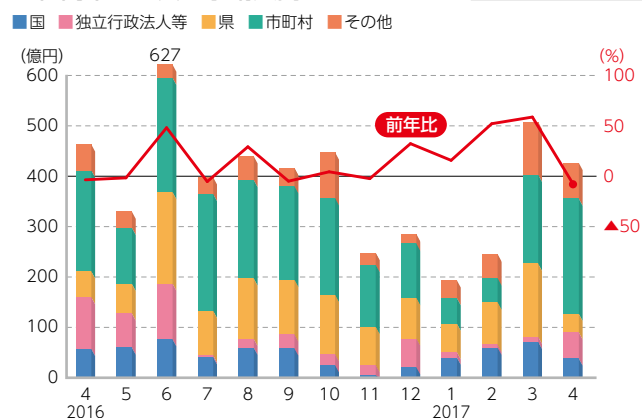
4.公共工事 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.5%増の486件、金額が同7.9%減の430億円となりました。

発注者別では、市庁舎建設工事の大型案件があった「市町村」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「県」が前年を下回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比22.2%減の21件、負債総額は約72億円となりました。

太陽光パネル製造販売業で52億円の大型倒産が発生したほか、建設業で5億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復している

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復しています。

生産活動は、電気機械が上昇する等、回復の動きが続いており、個人消費についても、昨年4月の熊本地震による休業や買い控えの反動等により、全ての品目が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。また、住宅建設及び公共工事も復興需要等を背景に前年を上回る状況が続いています。

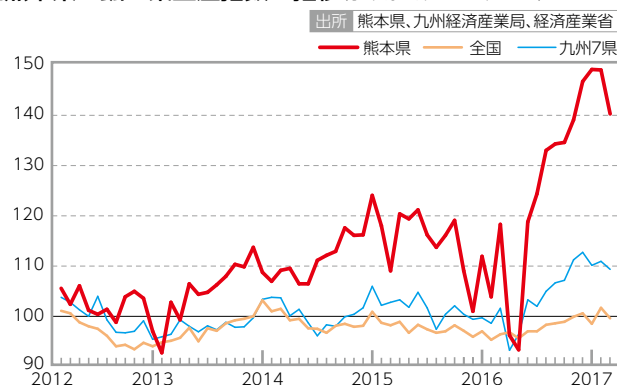
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 回復の動きが続いている

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は140.5と前月比5.9%低下しました。

主要業種では、集積回路の生産が減少した電子部品・デバイス等が低下したものの、電気機械が上昇する等、生産全体としては引き続き高い水準を維持しており、回復の動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

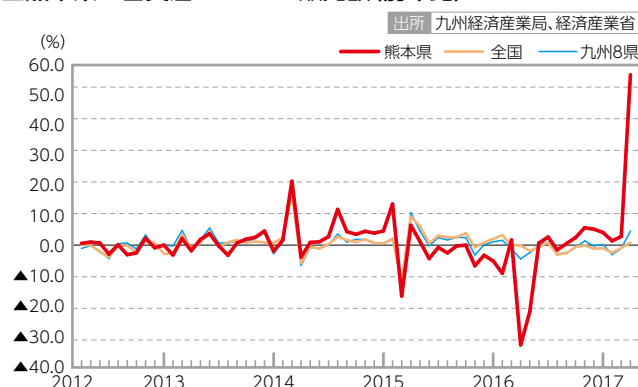


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比56.7%増の127億円となりました。

昨年4月の熊本地震による休業や買い控えの反動等により、全ての品目が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



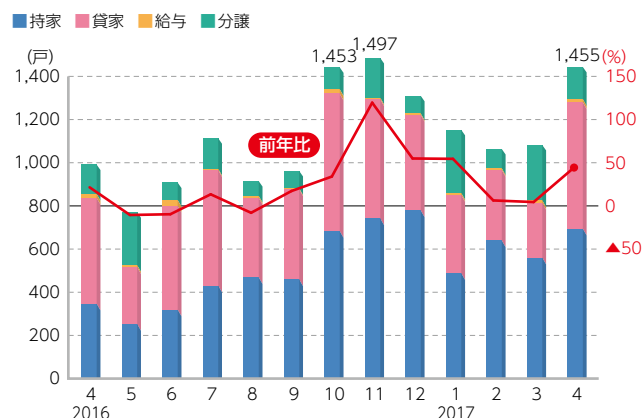
3.住宅建設 | 8ヵ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比45.6%増の1,455戸となりました。

「給与」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



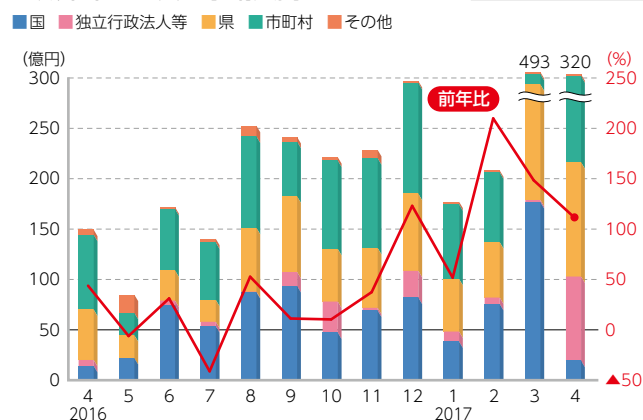
4.公共工事 | 9ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比75.6%増の453件、金額が同112.5%増の320億円となりました。

震災復旧工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、警察庁舎新築工事の大型案件があった「県」等が前年を大きく上回り、全体でも9ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



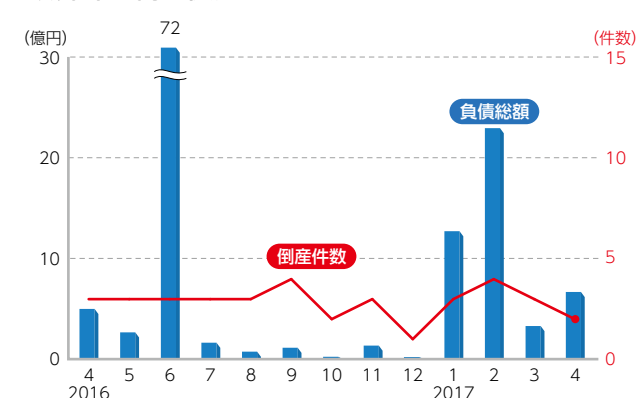
5.企業倒産 | 4ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同33.5%増の約7億円となりました。

不動産賃貸業で約7億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設は3ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事も前年を上回る状況が続いています。

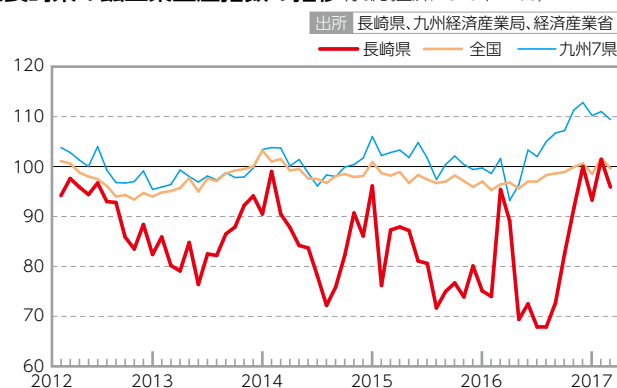
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.9と前月比5.4%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスも低下したものの、修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

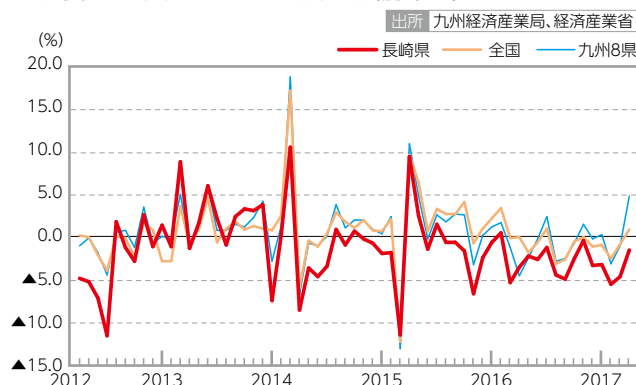


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.6%減の83億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





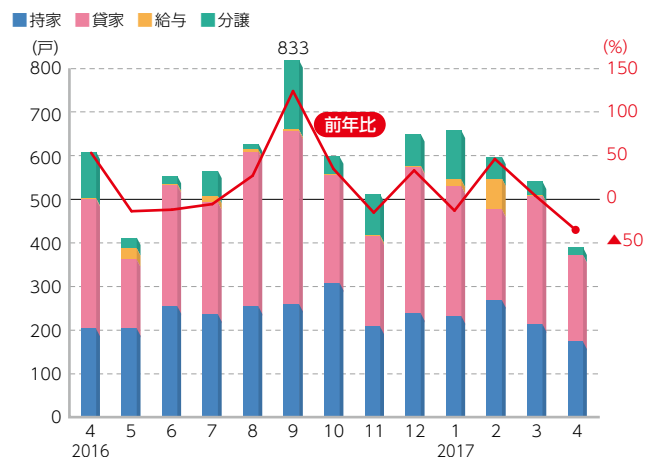
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比36.0%減の396戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



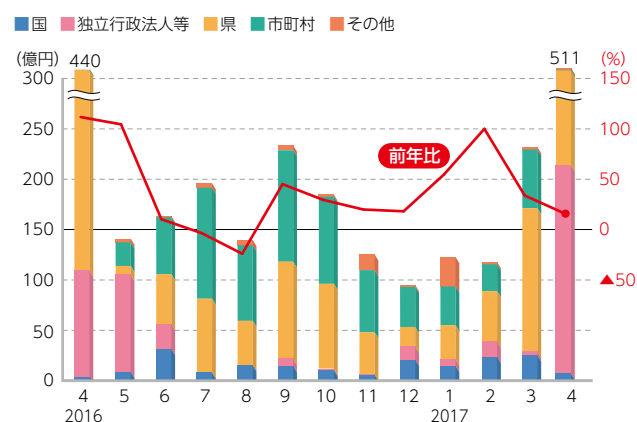
4.公共工事 | 8ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比36.9%増の297件、金額が同16.1%増の511億円となりました。

発注者別では、九州新幹線トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、水道施設工事があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の2件、負債総額は約11億円となりました。

ホテルで11億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、生産活動に弱さがみられるものの、個人消費は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

公共工事が4ヵ月ぶりに前年を下回ったほか、生産活動についても化学が低下する等、弱含みの兆しがみられます。一方で、個人消費は主力の衣料品や飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設についても2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

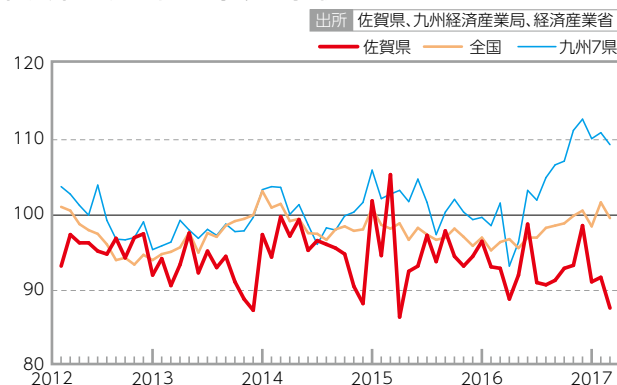
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.6と前月比4.5%低下しました。

主要業種では、一般機械が上昇したものの、化学が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

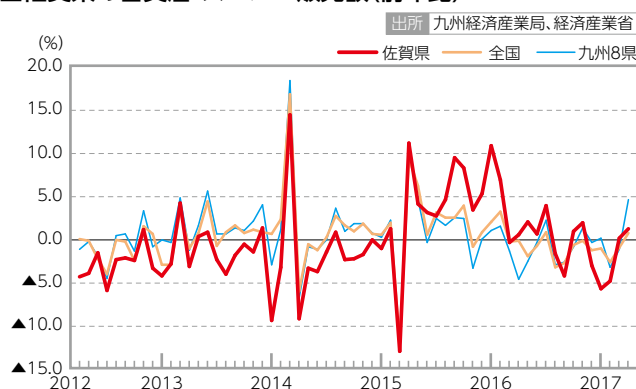


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%増の51億円となりました。

気温が上昇した影響等により春物衣料に動きがみられ、主力の衣料品が好調だった他、飲食料品も前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





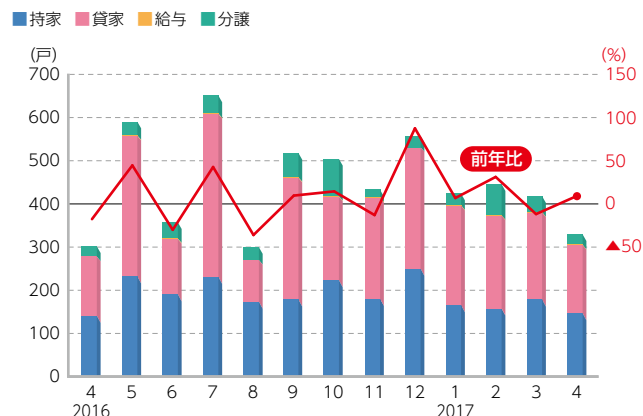
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比9.2%増の332戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



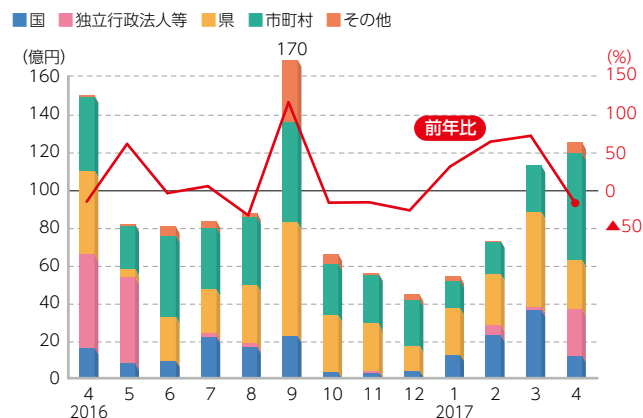
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.2%増の161件、金額が同16.6%減の126億円となりました。

発注者別では、学校校舎改築工事があった「市町村」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「県」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は約5億円となりました。

ホテルで4億円の倒産が発生したほか、運送業で約1億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

生産活動はプラスチックが増産となった化学・石油製品が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、主力の衣料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設が2ヵ月ぶりに前年を上回ったほか、公共工事についても前年を上回る状況が続いています。

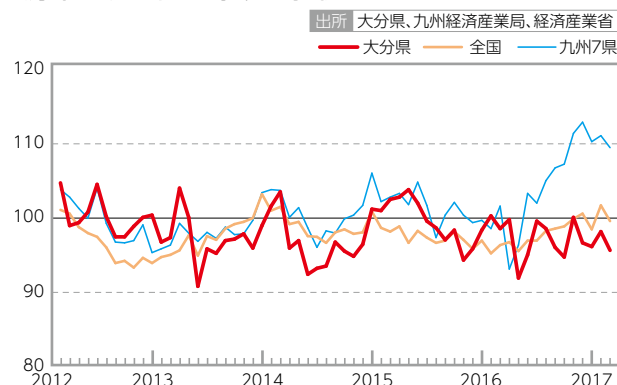
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.7と前月比2.5%低下しました。

主要業種では、半導体の生産が減少した電子部品・デバイスが低下したものの、プラスチックが増産となった化学・石油製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

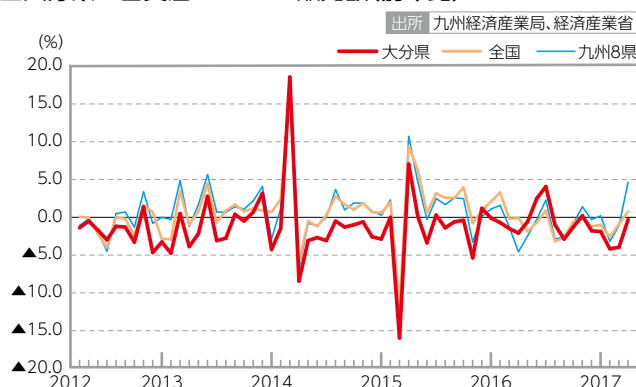


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.3%減の82億円となりました。

飲食料品は前年を下回ったものの、気温が上昇した影響等により春物衣料に動きがみられ、主力の衣料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





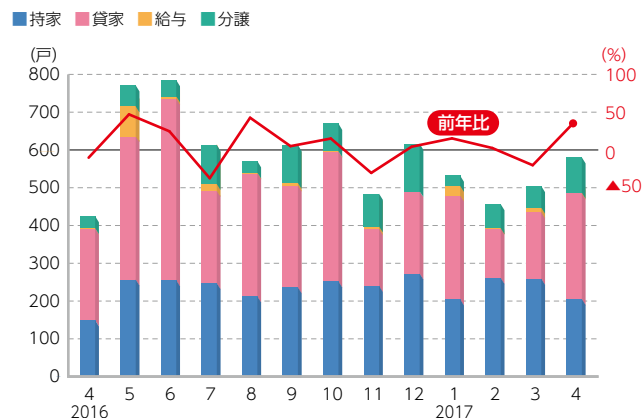
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比36.7%増の585戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



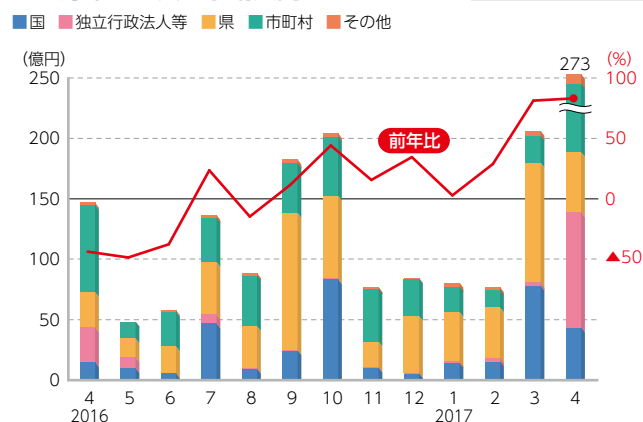
4.公共工事 | 8ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.3%増の227件、金額が同84.5%増の273億円となりました。

発注者別では、震災復旧工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、土地造成工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を大きく上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



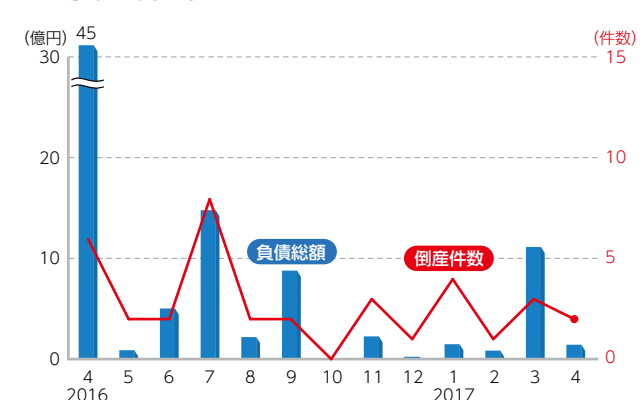
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比66.7%減の2件、負債総額は同96.8%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移している

宮崎県の景気は、生産活動に弱さがみられるものの、個人消費は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

生産活動は電子部品・デバイスが低下する等、弱含みの兆しがみられるほか、住宅建設についても2ヵ月連続で前年を下回りました。一方で、個人消費は化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しており、公共工事についても2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

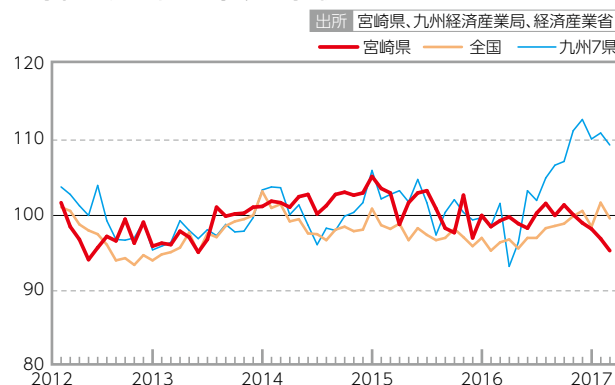
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.3と前月比1.7%低下しました。

主要業種では、食料品が上昇したものの、電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

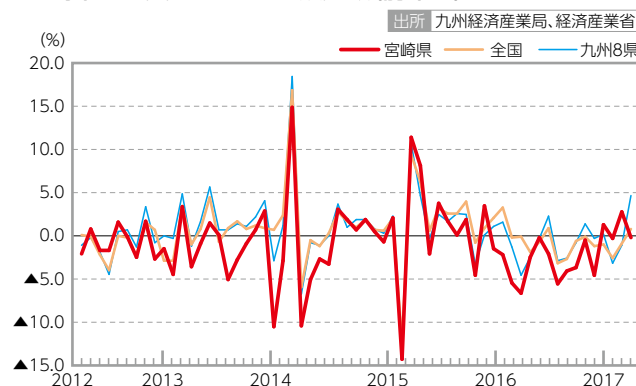


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.2%減の55億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





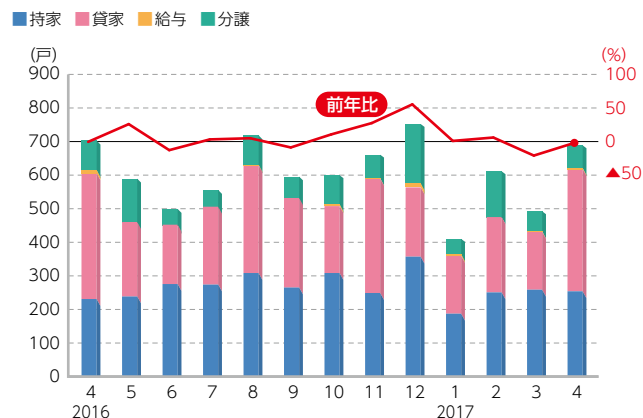
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.0%減の694戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



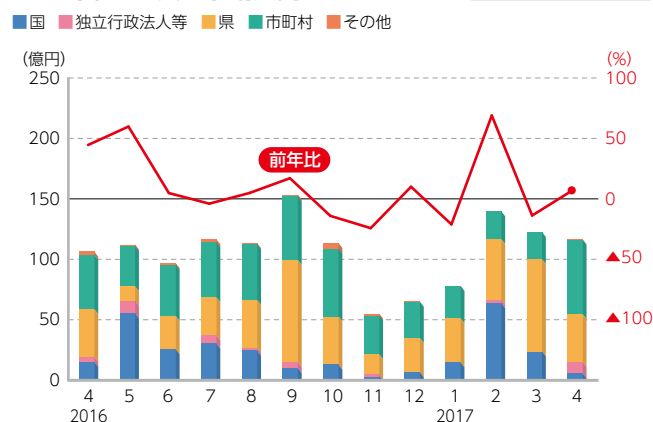
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比17.6%減の192件、金額が同9.7%増の117億円となりました。

発注者別では、高速道路工事があった「独立行政法人等」と、複合施設改修工事があった「市町村」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



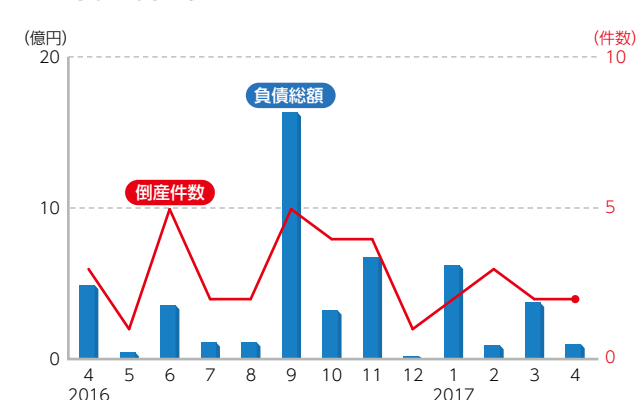
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同79.9%減の1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設は前年を下回る状況が続いているものの、生産活動ははん用・生産用機械が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事も前年を上回る状況が続いています。

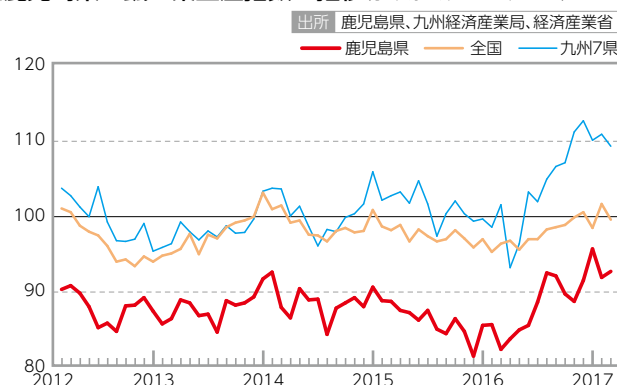
(諸限 あきこ)

1. 生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.7と前月比0.9%上昇しました。

主要業種では、電子部品・デバイスが低下したものの、はん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

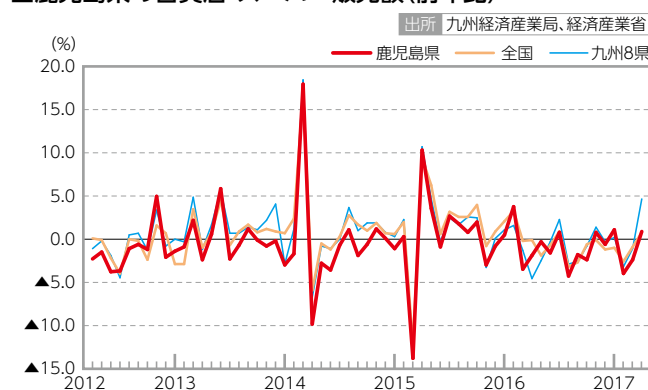


2. 個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.9%増の121億円となりました。

主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





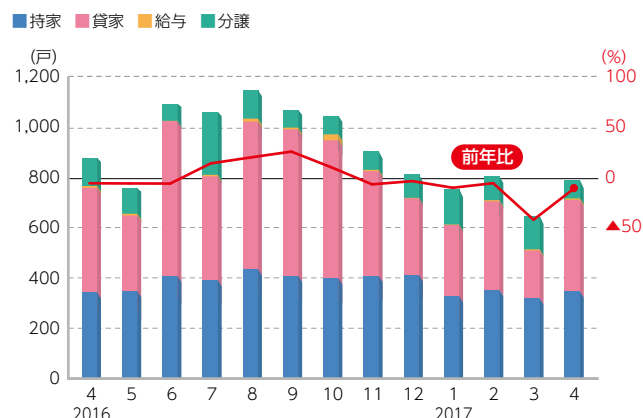
3.住宅建設 | 6ヵ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.2%減の793戸となりました。

「持家」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも6ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



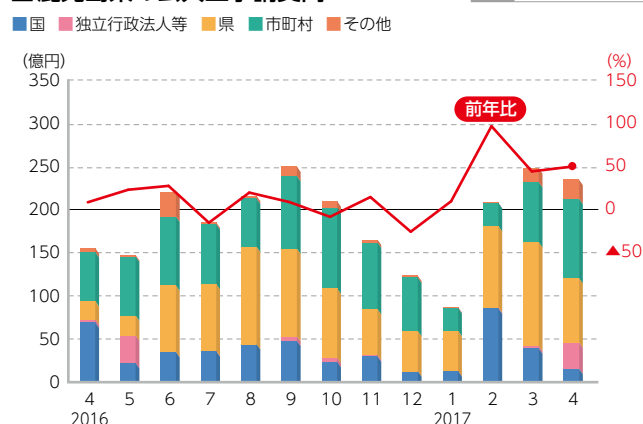
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比71.8%増の390件、金額が同51.1%増の238億円となりました。

発注者別では、大学病院新築工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、空港ビル改築工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%増の5件、負債総額は同1.2%増の約9億円となりました。

養殖業で約6億円の倒産が発生したほか、建設業及び電気工事業でそれぞれ約1億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

